

単元名	春だ 今日から 2年生			教科書の ページ	p.1～8
配当時数	6 時間	活動時期	4 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3)(5) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬との違いを見付け、四季の変化や、春を迎えて生活の様子が変わったことに気付いたり、学校の周りをみんなで歩き、地域の安全を守っている人々や施設のことが分かったりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域への関心を高めようとするようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	春の身近な自然の観察を通して、四季の変化や春に合わせて生活の様子が変わることについている。
	思考・判断・表現	春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬の様子と比べ、身近な自然の違いや特徴を見付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	春の身近な自然の観察を通して、春の自然や地域の安全を守っている人に親しみ、地域で安全に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
春を さがそう			
・諸感覚を使って、春の自然を観察し、冬にはなかった動植物を見付けたり、それらと関わったりして、四季の変化に気付くことができるようにする。 p.2～3	3	①～②校庭などで、春の動植物を観察したり、春を感じられるものを探したりして、冬から春になって変わっていることを探す。 ③気付いたことや感じたことを記録カードにかいたり、友達と伝え合ったりして、四季の変化を共有する。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
1年生を むかえよう			
・1年生が、安心して学校生活を送れるように、学校生活のことを紹介したり、いっしょに遊んだりすることを通して、自分たちが成長し、進級したことを実感するとともに、これから意欲的に2年生の生活を送ろうとすることができるようにする。 p.4～5	3	①1年生を迎える計画を立てる。 ②～③学校の中を案内したり、教室や校庭でいっしょに遊んだりする。活動後に、活動の様子や進級の喜びなどを記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	大きく なあれ わたしの 野さい			教科書の ページ	p.9～20 p.66～67
配当時数	9 時間	活動時期	4～7 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に予測しながら、それらの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、生き物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。
	思考・判断・表現	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
野さいを そだてよう			
・野菜を育てることに興味をもち、人に聞いたり、本で調べたりしながら、自分で育てる野菜を決め、適切に苗を植えたり、たねをまいたりすることができるようにする。 p.10～11	3	①春から栽培するのに適している野菜について、みんなで話し合い、自分の栽培する野菜を決める。 ②～③自分が育てる野菜の苗を植えたり、たねをまいたりして、気付いたことを記録カードにかく。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
野さいの せわを つづけよう			
・植物の変化や成長の様子に関心をもち、植物の状態を観察するとともに、本で調べたり、人に聞いたりして、適切な世話の仕方を考え、それを実行することができるようにする。 p.12～13	3	<u>常時活動</u> 休み時間などを使って、水やりや草取り、施肥など、継続的に世話をする。 ①野菜の様子について話し合い、今は、どんな世話が必要かを話し合う。 ②～③必要に応じて支柱を立てる、脇芽を摘むなどの世話をし、その都度記録カードなどにまとめる。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
野さいを しゅうかくしよう			
・野菜（実）の状態を観察し、収穫することを通して、植物の生命力を実感するとともに、自分で野菜を育て、収穫したという充実感をもつことができるようにする。 p.14～15	1	<u>常時活動</u> 休み時間などを使って、野菜の状態を観察し、熟した野菜を収穫する。 ①収穫して気付いたことを、記録カードにかき、友達と発表し合う。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
野さいの ことを まとめよう			
・自分が育てた植物の変化や成長の様子、これまでの世話などを振り返り、作品にまとめて表現するこ	2	①記録カードなどを振り返りながら、これまでの栽培のことをまとめる。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行

とで、植物が生命をもっていることや、適切に世話をすることができた自分たちの成長に気付くことができるようにする。 p.16～17		②まとめたものをもとにして、報告会をする。	動観察
秋や 冬にも そだてよう			
・秋や冬に育てられる野菜を調べ、これまでの経験を生かして、適切な世話を続けることができるようにする。 p.20	外	・秋や冬に育てられる野菜について調べ、育てる野菜を決める。 ・これまでの経験を生かして、継続的に世話をする。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
サツマイモを しゅうかくしよう			
・みんなで育てた野菜の収穫を喜ぶとともに、その利用方法をみんなで話し合い、決めることができるようにする。 p.66～67	外	・サツマイモを収穫する。 ・サツマイモのつるなどを利用してできる遊びを考え、みんなで楽しく遊ぶ。 ・収穫したサツマイモの世話を振り返り、作品にまとめる。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

単元名	どきどき わくわく まちたんけん			教科書の ページ	p.21～32
配当時数	9 時間	活動時期	4～6 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3) 従たる内容:(8)

単元の目標		地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを考え、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。
	思考・判断・表現	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりについて考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
まちの ことを 話そう			
・自分のお気に入りの場所や興味のある場所、知っている場所、不思議に思っている場所などを紹介し合うことを通して、身近な地域に関心をもつことができるようにする。 p.22～23	1	①自分の生活している身近な地域の中で、自分がお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などを話し合う。	[知技] 作品・発言・行動観察
まちたんけんの 計画を 立てよう			
・友達と探検に行きたい場所を話し合い、行く場所や行く順番を決めたり、安全に気を付けて探検するためのルールやマナーを決めたりすることができるようにする。 p.24～25	2	①探検に行きたい場所を話し合い、グループに分かれる。 ②グループごとに、探検する順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど、探検の計画を話し合い、計画カードにかく。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
まちたんけんに 行こう			
・グループごとに探検に出かけ、友達と協力しながら、計画に沿って、地域の場所を調べたり、途中で新たに興味のある場所を見付けたりしながら、自分と地域との関わりを広げることができるようにする。 p.26～27	3	①探検の計画と、探検のルールやマナーを確認し、探検に出かける。 ②～③グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の場所やもの、人と関わる。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
見つけた ことを 教え合おう			
・探検したことを振り返り、見付けた場所やもの、関わった人のことを、地図に貼るなどして友達と伝え合うことを通して、自分が関わ	3	①探検で見付けたことを、グループごとに振り返り、気付いたことを記録カードにかく。 ②見付けたことの中で、いちばん	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察

った場所や人以外にも、さまざまな関わりがあることに気付き、安全に気を付けて生活することができるようにする。 p.28～29		伝えたいことを付箋紙にかき、絵地図に貼る。 ③絵地図を見ながら、自分たちが調べてきたことや、新しく見付けたことなどを発表する。	[態度] 作品・発言・行動観察
まちで さがそう			
・諸感覚を使って地域を調べたり、地域にある看板や標識を調べたりして、これまでに意識しなかったものやその役割に気付き、安全に気を付けて生活することができるようにする。 p.30～31	外	・音やにおい、色、季節、安全などに関わるものや設備の視点で探検を行う。 ・見付けたことやその役割などについて振り返り、記録カードにかく。	[知技] 作品・発言・行動観察

単元名	生きもの なかよし 大作せん			教科書の ページ	p.33～46
配当時数	12 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、自分たちと同じように生命をもっていることなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしてすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、自分たちと同じように生命をもっていることに気付いている。
	思考・判断・表現	動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
生きものを さがしに 行こう			
・身の回りの、生き物がいるような場所について話し合い、生き物を探しに行く場所を考え、安全に気を付けて、みんなで生き物を探しに行くことができるようにする。 p.34～35	3	①ふだんの生活の中で見つけた生き物の種類や、いた場所について話し合い、生き物を探しに行く場所を決める。 ②～③安全に気を付けて、みんなで生き物を探しに行き、教室に戻ってから、気付いたことを記録カードにかく。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
生きものを とりに 行こう			
・前時の活動を振り返って話し合ったり、本で調べたり、詳しい人に聞いたりして、生き物のいる場所や餌などを考え、採集しに行く計画を立て、安全に気を付けて生き物を採集することができるようにする。 p.36～37	4	①前時の経験を振り返ったり、自分が知っている採集方法などを話し合ったりして、生き物を採集しに行く計画を立てる。 ②～③計画した場所に出かけ、安全に気を付けながら、友達と協力して生き物を採集する。 ④生き物のためにすみかや餌を整えてから、採集したときのことや、採集した場所のことなどを振り返り、気付いたことを記録カードにかく。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
生きものを そだてよう			
・採集した生き物を飼育し続けたいという思いをもち、飼い方を調べて、飼育する中で、生き物の変化や成長の様子に付き、自分の飼育している生き物が生命をもっていることを実感し、生き物を大切にすることができるようにす	2	①飼い続けるために必要なすみかや餌について話し合ったり、調べたりする。 ②生き物を捕まえた場所のことを想起してすみかをつくるなど、生き物に応じた世話をする。 常時活動 休み時間などを使って、	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

る。 p.38～39		世話をしたり，様子を観察したりしながら，継続して，生き物を大切に飼育する。	
生きものの ことを つたえよう			
・自分が飼育してきた生き物のことを振り返り，作品にまとめる中で，生き物のことを考えて世話ができるようになった自分自身の成長に気付くことができるようにする。 p.40～41	3	①～②これまでの飼育のことを振り返り，伝えたいことを，グループで話し合って決め，作品をつくったり，発表の練習をしたりして準備する。 ③1年生や生き物のことを教わった人などを招待して，自分たちが飼育している生き物のことを，分かりやすく伝える。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	うごく うごく わたしの おもちゃ			教科書の ページ	p.47～56
配当時数	12 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(6) 従たる内容:(8)

単元の目標		身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなど工夫してつくることができ、遊びの面白さや不思議さに気付き、生活上必要な習慣や技能を身に付け、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。
	思考・判断・表現	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。
	主体的に学習に 取り組む態度	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
うごく おもちゃを つくろう			
・動くおもちゃで遊んだり、自分でつくったりすることに関心を持ち、動く仕組みを考えながら、身近にあるものを使って、自分でおもちゃをつくることができるようにする。 p.48～49	3	①教師のつくった見本のおもちゃで遊ぶ。 ②～③見本のおもちゃや教科書を参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を考えて用意し、試行錯誤しながら、自分のおもちゃをつくり、動かして遊ぶ。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
もっと くふうしよう			
・自分がつくったおもちゃで遊んだり、友達と比べたり、工夫を教え合ったりしながら、よりよく動くように改良することを通して、動くおもちゃをつくることの面白さや、おもちゃの動きの不思議さに気付くことができるようにする。 p.50～51	3	①自分がつくったおもちゃで遊んだり、友達と競争したりする。 ②～③友達と比べたり、工夫したところを教え合ったりして、試行錯誤しながら、さらに自分たちのおもちゃの機能が高まるように改良する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
あそび方を くふうしよう			
・自分たちがつくったおもちゃを使って、遊び方やルールを工夫しながらみんなで遊び、その楽しさに気付くとともに、遊びを工夫したり、みんなで楽しく遊んだりできる自分たちのよさに気付くことができるようにする。 p.52～53	6	①みんなで楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することなどについて話し合う。 ②～③みんなで遊ぶために、おもちゃや会場の準備をしたり、遊び方の紹介パンフレットなどをつくったりする。 ④～⑤遊びながら、おもちゃを改良したり、さらに楽しくするためのルールを考えたりする。 ⑥みんなで遊んだり、友達に教え	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

		てもらったりしたことを振り返り，記録カードなどにかく。	
--	--	-----------------------------	--

単元名	みんなで つかう まちの しせつ			教科書の ページ	p.57～68
配当時数	6 時間	活動時期	10 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(4) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、それらを大切にし、正しく完全に利用しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることや、それらを支えている人々がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切にし、正しく、安全に利用しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
図書かんに 行こう			
・図書館を利用する中で、図書館は自分たちだけでなく、さまざまな人が使う場所であることが分かり、安全に気を付けて、正しく利用することができるようにする。 p.58～59	3	①図書館などの公共施設を利用する際のルールやマナーについて確認し、出かけるための準備をする。 ②～③地域の図書館に出かけ、本を読んだり、借りたりするなどして、実際に図書館を利用する。学校に戻り、図書館を利用したことを振り返り、気付いたことなどを話し合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
図書かんの ことを 聞いて みよう			
・図書館司書の人やボランティアの人、利用者などと関わる中で、図書館を支えている人があることや、図書館には、みんなが気持ちよく利用できるためのさまざまな工夫があることに気付くことができるようにする。 p.60～61	3	①～②図書館に行き、図書館のことを調べたり、図書館司書の人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。 ③学校に戻って、活動を振り返って話し合い、気付いたことを記録カードや新聞などに表現する。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
行って みよう つかって みよう			
・身近な公共施設や公共物を、繰り返し、大切に利用しながら、その場所に愛着をもち、それを支えている人々がいることに気付くとともに、安全に気を付けて、正しく利用することができるようにする。 p.62～63	外	・身近な公共施設を繰り返し利用する。 ・利用したり、人々に関わったりして気付いたことを、記録カードにかいたり、話したりして、伝え合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	もっと なかよし まちたんけん			教科書の ページ	p.69～76
配当時数	12 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3) 従たる内容:(4)(5)(8)

単元の目標		地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考え、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとしてすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。
	思考・判断・表現	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
まちたんけんの 計画を立てよう			
・春のまち探検や夏休みなど、自分たちが行った場所の中から、もう一度行ってみたい場所を話し合い、行く場所を決めて、探検の準備をすることができるようにする。 p.70～71	3	①絵地図を見ながら、春のまち探検や夏休み中に行った場所のことを話し合う。 ②探検に行きたい場所、話したい人、聞きたいことなどを話し合い、まち探検のグループを決める。 ③グループごとに、探検する場所や聞きたいことを確認し、順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど、探検の計画を話し合い、計画カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
もう いちど たんけんに行こう			
・探検の計画に沿って、グループで地域に出かけ、地域で生活している人や働いている人と関わる中で、その人たちの思いや工夫などに気付き、地域の人ともっと関わりたいという思いをもつことができるようにする。 p.72～73	3	①～②グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の人と関わったり、インタビューをしたりする。 ③活動を振り返り、まち探検で聞いてきたことや気付いたことを、友達や教師に話し、記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
まちの 人と なかよく なろう			
・地域の人々と話をしたり、いっしょに何かをしたりして繰り返し関わる中で、それらの人々が自分たちの生活と関わっていることに気付き、地域の人々に親しみと	3	①前時の探検で関わった人と、もう一度関わる計画を立て、準備をする。 ②～③グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の人にイ	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

愛着をもつことができるようにする。 p.74～75		インタビューしたり、いっしょにできることをしたりする。	
なかよく なった 人の ことを しょうかいしよう			
・地域で関わった人々のことを振り返り、友達と伝え合う活動を通して、自分たちの地域には、すてきな人や場所がたくさんあることが分かり、地域への親しみと愛着をもつことができるようにする。 p.76	3	①探検で関わった人のことをグループで話し合い、ほかのグループの友達に伝える準備をする。 ②デジタルカメラで撮ってきた写真を見せ合ったり、絵地図を見ながら口頭で話したりして、地域で関わった人のことを、友達と発表し合う。 ③地域のさまざまな場所や地域の人たちと、自分の生活との関わりについて話し合う。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	つたわる 広がる わたしの 生活			教科書の ページ	p.77～90
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3)(8) 従たる内容:(4)

単元の目標		自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、進んで触れ合い交流しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。
	思考・判断・表現	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
つたえたいな まちの すてきな できごと			
・まち探検などで地域の人と関わったことを振り返り、自分の心に残った地域の出来事の中から、伝えたいことや伝える相手を考え、選ぶことができるようにする。 p.78～79	2	①地域で関わった人のことを、これまでの記録カードや作品などを見ながら振り返り、自分の心に残った地域の出来事を思い出す。 ②自分の心に残った地域の出来事について、友達と話し合い、自分の伝えたいことと、伝える相手を決める。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
つたえる じゅんびを しよう			
・伝えたい人と伝えることを決め、それらに適した表現方法を選んで、作品にまとめることができるようにする。 p.80～81	4	①自分の伝えたいことと、伝える相手に適した表現方法を話し合う。 ②前時に決めた表現方法で、作品をつくる。 ③作品を友達と見せ合い、工夫した点や、互いの作品のよさを教え合う。 ④作品を改良する計画を立て、もっと調べたいことを話し合う。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
もっと くわしく しらべよう			
・表現作品をまとめる中で、もっと調べたいという思いをもち、手紙や電話、取材など、多様な手段を用いてさらに情報を集めることができるとともに、それらの活動を通して、地域の人々と関わることの楽しさを実感することができるようにする。 p.82～83	3	①作品をさらによいものにするため、地域の人に聞きたいことを決め、調べる準備をする。 ②手紙や電話、取材などの方法で、地域の人に質問をするなどして、必要な情報を集める。 ③地域の人に聞いたことをもとに、作品を改良する。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

まちの すてきを つたえよう			
・自分の表現作品を使って、心に残った地域の出来事を身近な人々に伝えたり、身近な人々から感想を聞いたりする中で、身近な人々と関わることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。 p.84	3	①学校に招待するための手紙やポスターをつくり、身近な人々を招待する準備をしたり、発表会の練習をしたりする。 ②～③保護者や地域の人など、身近な人々を招待し、表現作品を使って、自分の心に残った地域の出来事を発表する。招待した人からの感想を聞くなどして、今までの活動を振り返る。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
まちに つたえに 行こう			
・自分のつくった表現作品を持って地域に出かけ、自分の心に残った地域の出来事について、地域の人と伝え合う中で、身近な人々と関わることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。 p.85	外	・地域に、自分の心に残った地域の出来事を伝えに行く計画を立てる。 ・地域に出かけ、作品を手渡したり、掲示してもらったりして、自分の心に残った地域の出来事を伝える。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	あしたへ ジャンプ			教科書の ページ	p.91～102
配当時数	27 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(9) 従たる内容:(2)(3)(8)

単元の目標		自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考え、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしていくことができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付いている。
	思考・判断・表現	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや自分の成長を支えてくれた人々について考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
大きく なった 自分の ことを ふりかえろう			
・これまでの表現作品などを手がかりにして、これまでの2年間の学習や生活を振り返り、自分ができるようになったことなどに気付くことができるようにする。 p.92～93	3	①入学してからこれまでにあったことを、クラス全体で振り返る。 ②自分のつくった表現作品などを見直して、自分ができるようになったことなどを見付ける。 ③自分ができるようになったことなどを、友達と伝え合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
大きく なった 自分の ことを しらべよう			
・友達や家の人、これまでに関わった人などの身近な人々に、大きく なった自分のことをインタビューしたり、伝え合ったりする活動を通して、自分や友達の、優しい気持ちや他者への思いやりなど、内面的な成長に気付くことができるようにする。 p.94～95	3	①友達との関わりを振り返り、互いのすてきなところを見付け、カードにかいて渡し合う。 ②お世話になった人や家の人などに、自分の成長についてインタビューする。 ③カードやインタビューなどを手がかりにして、現在の自分と比較して、自分の成長について考える。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
大きく なった 自分の ことを まとめよう			
・これまで振り返ったり調べたりしたことの中から、自分の成長を表すのに最適な出来事を選び出し、それに合った表現方法を考えて作品にまとめるとともに、友達と自分たちの成長を伝え合うことを通して、自分たちの成長を支えてくれた人がいることに気付くことができるようにする。 p.96～97	9	①自分の成長について、どんな出来事を、どのような方法でまとめるのかを考える。 ②～⑦資料や材料を集め、決めた表現方法を工夫しながら、自分の成長をまとめる。 ⑧～⑨友達とまとめた作品を見せ合いながら、大きくなった自分たちのことを伝え合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

ありがとう はっぴょう会を ひらこう			
・自分たちの成長を支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、その気持ちを伝えるために、発表会を開き、自分たちの成長した姿を見てもらうことができるようにする。 p.98～99	9	①～②発表会に招待したい人を決め、発表することや方法を考え、発表会の計画を立てる。 ③～⑤発表の方法を工夫し、準備や練習をしたり、招待状を出したりする。 ⑥～⑧感謝の気持ちを伝える発表会を開く。 ⑨発表会について振り返る。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
すてきな 3 年生に なろう			
・3年生になったらしてみたいことをかいたり、話したりして、これからの学習や生活への意欲や願いをもつことができるようにする。 p.100～101	3	①3年生はどんなことをしているのか、上級生に聞いたり、教室や教科書を見せてもらったりする。 ②3年生になったらしてみたいこと、頑張りたいことなどを考え、伝え合う。 ③頑張りたいことを友達と話し合い、近い未来の自分に宛てて、手紙を書く。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察